

動画撮影機能、ファイル共有機能

中学校 第1学年 技術・家庭(技術分野)

「収納ラックの製作を通して、木材の有効利用について考えよう」

- (1) ねらい 木材を切断線に沿って正確に切断するため、材料の固定、切断の姿勢、切り終わりが大切であることに気づき、切断線に沿ってまっすぐに切断することができる。
- (2) 評価規準 固定、姿勢、切り終わりを意識して、切断線に沿ってまっすぐに切断している。(知識・技能)
- (3) 学習展開 (5/10)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)									
導入	1 前時の生徒の切断の様子(動画)を見て、作業内容の本時の願いをもち。 ・切断線に沿ってまっすぐ切断すると接合も丈夫になる。【丈夫さ】 ・美しい作品を作るためにも正確に切断をしたい。【美しさ】	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のゴールがイメージできるように、生徒の切断の様子を動画で見せる。 動画の提示前時の作業の様子から、生徒をピックアップする。 									
	切断線に沿ってまっすぐ切断するためにはどうすればよいだろうか。										
展開	2 本時の評価基準や確認方法の具体を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の評価基準及び確認方法について、具体物を示して例示する。 教師示範の際に、録画するポイント(方向)をおさえる。 <固定>横から <姿勢>正面から <切り終わり>横から 									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価基準</th> <th>確認方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丈夫さ</td> <td>切断線に沿って切断できている。</td> <td>目視、手ざわり</td> </tr> <tr> <td>美しさ</td> <td>木材のバリが出ていない。 余計な切り跡がない。</td> <td>机に立てる さしがね、直角定規</td> </tr> </tbody> </table>		評価基準		確認方法	丈夫さ	切断線に沿って切断できている。	目視、手ざわり	美しさ	木材のバリが出ていない。 余計な切り跡がない。	机に立てる さしがね、直角定規
	評価基準		確認方法								
	丈夫さ		切断線に沿って切断できている。	目視、手ざわり							
美しさ	木材のバリが出ていない。 余計な切り跡がない。	机に立てる さしがね、直角定規									
3 示範を観察し、作業のポイントを考える。 <固定>クランプを使用し、切断箇所に近い位置で固定する。 <姿勢>切断線とのこ身が一直線上になっている。 <切り終わり>木材を支えてもらい木材を欠けにくくする。											
4 切断を行う人・動画撮影をする人に分かれて、ペアで1箇所目の板材の切断を行う。 ・姿勢を意識して切断することができた。 ・一直線上に立つことができていたか知りたい。											
終末	5 動画を互いに交流し、気を付けたことや改善したいことを交流する。(テーブル→全体交流) ・木材が動いてしまって切断が曲がってしまうのが嫌だったから、クランプの位置に気を付けて切断できた。 ・立つ位置がまっすぐだと思ったけど動画を見てみると、まだ曲がっていることが分かったので次は立つ位置に気を付けたい。	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の切断作業の姿を動画で撮影し、客観的に自分の姿を確認することで、意識したことや、改善点を見いだすことができるようにする。 ペアに録画してもらった自分の作業の様子を見て、作業ポイントと照らしながら、できたこと、次の作業で修正することを確認する。 									
	6 2箇所目の木材切断を行う。 ・仲間のアドバイスから立つ位置がまだ一直線上ではなかったため、立つ位置に気を付けることでまっすぐ切断できた。										
	7 個人で本時の課題に対する考えをまとめ、本時を振り返る。										
	自分が切断している動画を見て、姿勢が切断線と一直線上に立っていないことが分かったので、そこを修正すると、木材をまっすぐに切断することができた。切断面同士を合わせると、ぴったりだったので丈夫に接合できそうだ。	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業の様子動画、点検の様子写真を協働学習支援ツールの共有機能を使って保存・提出する。 生徒は仲間の作業の様子が確認できるとともに、教師は評価の材料とする。 作業のポイントを基に振り返り、それが【丈夫さ】や【美しさ】につながっているか確認する。 									
	8 片付け、掃除を行う。										